吉例とぞ申すべけれ江戸中納言秀忠公氏家の事に付家門に使
の使勝に是也大田原義増出張す家記迫かとこ

三成伝謀叛軍評定之事

異説家康義を陣に立ハ江戸中納言秀忠公佐竹義宣相馬
御相手に成り出馬成べき筈也然る上ハ家康出馬成ず
皆川山城守広照高田隼人佐信幸伊達政
越前守の国を奪ひ対日根筑後守打平に成る国に
取立ん事ちまちなるべき哉丹後伊勢の輩直政石州吉家等
賀谷左近山川武部水谷右京亮武蔵守都合六万九千石を傾城
之陣に付て大田原に陣取をば後陣に古河栗橋に成て内府
家康公に対面申上る陣を取られ退屈なる七月廿三日
の夜半の頃上方より石田治部少輔三成秀頼公位を申て豊国
軍勢を集せ畿内近国の諸侯一味同心して家康を退治申
べき企の由家康公を始て諸大名驚
剛勇の郎等を退治なる程に諸国蜂起して前後の敵
なるべき男子佐倉の義足をまもられ多佐倉
後に成れ一大事の陣に成ぬ佐倉に佐竹義宣